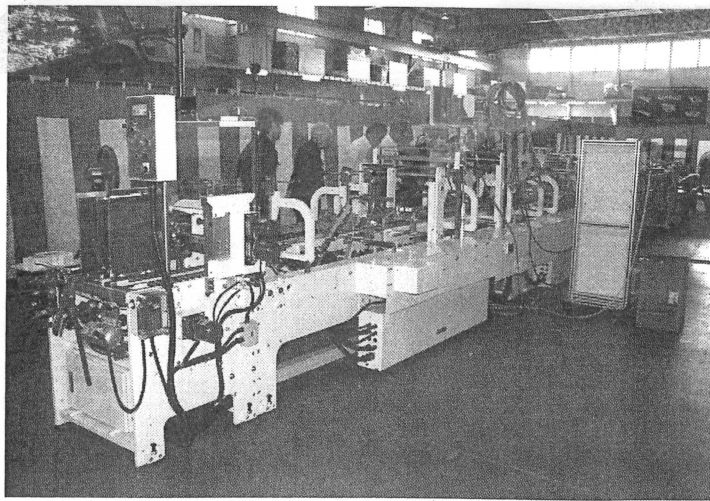


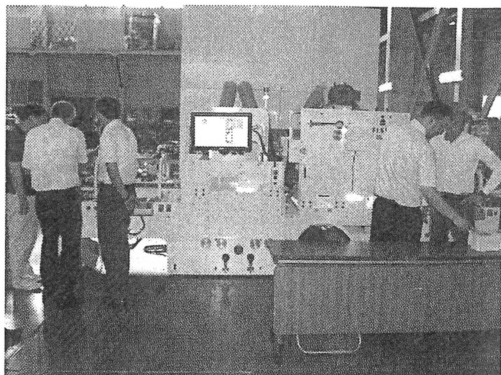
技術力の結晶、汎用機で

紙器用グルア
Nexia見学会
検査装置も実演

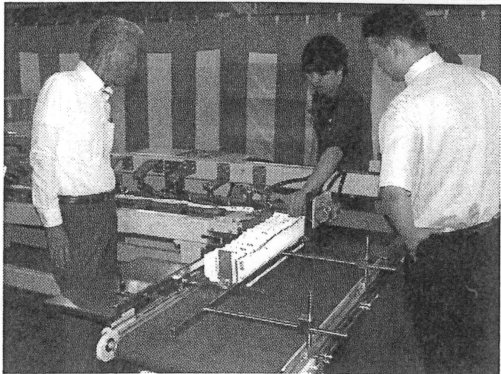


(株)日本紙工機械グループは8月29～31日の3日間、本社工場（茨城県利根町）で「次世代スタンダードサックマシンNexia（ネクシア）見学会」を開いた。同機は、カスタム機に比べ価格を

抑えながら品質や操作性を両立、同社が長年培ってきたノウハウや技術力が集約されている。紙器用グルア向けインライン両面検査装置Eagle



写真④次世代スタンダード機Nexiaを実演、⑤インライン両面検査装置Eagle eyes、⑥カートンコレクターも紹介



eyes（イーグルアイズ）なども併せて紹介した。同社では「6月の内覧

会で初めてEagle eyesをサックマシンに連結して実演したが、その後も反響が大きく見学会を開いた。今回、納入のタイミングから連結はしていないが、じっくり見ていただける好機となった。また、検査装置

の陰に隠れていたカートンコレクター等も改めてご覧いただきたい」とした。

次世代スタンダード機Nexiaは、昨年2月の内覧会で発表。幅広いカスタマイズに対応するハイスペックタイプのGMシリーズに比べ、価格を抑えながら高い品質と生産性、操作性等を併せ持っている。

展示機は450サイズの。実演では、口紅など化粧品や菓子用の小型ケースのサイド貼りを行った。給紙部（半自動化・LMガイド採用）やプレ

ホールド部、サイド糊壺（スイング方式）、上卒前後移動の本折部等のシンプルで使い易さを追求した機能と、高品質の表面処理加工部分や駆動シフトなど長年培ってきた高い技術力に注目が集まった。

りに強みがある。従来、複数人で行っていた数え作業を軽減でき、複数台を有する製造ラインではスライドさせて各マシンに連結可能だ。

Eagle eyesは、グルアメーカーの技術や経験をすべて投入した高精度の搬送によって、画像検査装置（ダツクエンジニアリング(株)）の優れた検査能力を発揮。姿勢矯正ユニットで折り込み部に確実に送り出す。搬送はベルトと上

2号機を、関東の印刷紙器メーカーに納入。同社では業務拡大に伴い3台目として使用し、既存の2台（GMなど）に複雑な貼りを任せ、比較的簡易なケースをNexiaに集中させる戦略だという。

圧着コンベアから刺身状態を出てきたブランクスを横向きに並べ替える補助コンベア「カートンコレクター」も実演。大

高性能カメラは表面を2基で、裏面を1基で確実にカバー。高速エジェクタ装置で、検査で不適合になったブランクスを確実に機外に排出する。排出時の姿勢も自然なため、再検査にもスムーズに移行できる。

最高搬送速度は毎分300以上で、対応機種サイズは450、650、850、1000ミリの4種類。新設・既設機（他社機も可能）どちらにでも対応する。

Eagle eyesも2号機で、10月に関東の印刷紙器メーカーに納入の予定である。